

サッカーの活動における 暴力根絶に向けて

富山県サッカー協会 リスペクトワークショップ・保護者版を視察して

2015年6月14日、富山県富山市の大山文化会館において、公益社団法人富山県サッカー協会（FA）主催の「リスペクトワークショップ・保護者版」が開催されました。富山県FAの4種登録96チームの保護者を対象とし、当日は393名が参加しました。

リスペクトワークショップは、講義とグループワークの2部構成で行われました。講義では、富山県FA技術委員長の河浦一成氏による「サッカーを通して学んでほしいもの」と題したレクチャーが行われました。具体的には、①リスペクト・フェアプレーの認識共有、②体罰（暴力、暴言、差別など）の問題点の認識、③子どもたちが安心して、安全にサッカーを楽しむための保護者（大人）の役割など、映像と資料を使用して情報共有がなされました。グループワークでは、チームの枠を越えて保護者間で10名ずつのグループをつくり、日頃の活動や体験をもとに、①サッカーは、私たちにとってどういう姿、存在であるべきか、②サッカーを通して学んでほしいこと、学びたいことは何か（子どもへの期待、保護者自身の目的）、③保護者として大切にしているものは何か、④私たち大人（指導者、保護者）は子どもたちにどのように映っているのか、⑤気がかりなこと（差別、暴力、暴言、環境問題）などをディスカッションし、積極的な意見交換が見られました。特徴的な内容は以下の通りです。

- ①サッカーは、私たちにとってどういう姿、存在であるべきか
 - ・ 楽しい、気持ち良い、すがすがしいスポーツであること
 - ・ 人々を結びつけるもの（親子、仲間など）
 - ・ 心や身体の成長に必要なもの
- ②サッカーを通して学んでほしいこと、学びたいことは何か（子どもへの期待、保護者自身の目的）
 - ・ スポーツ、サッカーの楽しさを知ること
 - ・ 友達を増やし、仲間と協力して一生懸命取り組むこと
 - ・ 人との関わりを通じて、あいさつやマナー（礼儀）を学ぶこと

- ③保護者として大切にしているものは何か
 - ・ 子どもが楽しくサッカーをしてくれること
 - ・ 自立心を育てること
 - ・ 一生懸命に応援すること、良いことは良いと褒めること
- ④私たち大人（指導者、保護者）は子どもたちにどのように映っているのか
 - ・ 安心を与えてくれる、応援してくれる心強い存在
 - ・ 自分たちの見本
 - ・ 勝敗を気にしている人
- ⑤気がかりなこと（差別、暴力、暴言、環境問題）
 - ・ 指導者のふさわしくない行動、雰囲気、言葉遣いや試合中の暴言（子ども、指導者共に）が見られること
 - ・ 遠征、練習がハードで休み時間がないこと（学業への不安）
 - ・ 子どもの力を過大評価する保護者

最後に、参加者の皆さんに「アンケート」「MYリスペクト宣言～私が大切にしたいもの（私のチャレンジ！）～」を提出していただきました。

真剣に講義を聞き、日々の体験をもとに積極的にディスカッションする様子は、「子どもたちのために」という参加者一人一人の真剣な思いに溢れていたように感じます。子どもたちは敏感で、その価値観は多様です。一人一人が唯一無二の存在であり、異なる人間ですから、互いに認め合うことが大切です。サッカーに関わる仲間として、大人（保護者）が子どもとの接し方を正しく知り、フェアであることが求められると思います。今回のワークショップで得られたであろう一人一人の「気付き」が、改善、もしくはさらに推進する「きっかけ」となれば、このワークショップの開催意義があったと感じます。決して簡単なことではありませんが、「子どもたちのために」という思いを原点に、一人一人が日常のあらゆる場面や活動の中で「リスペクト（大切に思うこ



富山県で開催された「リスペクトワークショップ・保護者版」の様子

と）を考え、「暴力をしない・させない・許さない」を行動で示し続けることができれば、サッカーを支える人たちの団結力がアップし、それぞれの環境の中で（県内の）自浄作用が高まり、子どもたちが安心・安全にサッカーを楽しめる環境づくりの実現に近づいていくことでしょう。

皆さんも今日から「MYリスペクト宣言～私が大切にしたいもの（私のチャレンジ！）～」をして、まず自分のできる一歩を踏み出しましょう！そして、皆の力で「リスペクト」の輪を全国に広げていきましょう！

富山県FAの取り組み

富山県FAは、2014年に発生したサッカーコーチによる指導中の暴力問題を機に、各種登録チームの指導者全員の資格取得の義務付けや公式戦でのウェルフェアオフィサーの設置など「再発防止策」を打ち出し、積極的に取り組んでいます。

その中で、今年は「4種のより良いサッカー環境づくり」を目指し、選手（※1）、保護者、指導者（※2）それぞれにリスペクトワークショップを実施しています。

※1：4月29日に実施、※2：9月に開催予定

JFAの取り組み

JFAでは、2012年2月に「サッカーの活動において、今後一切の暴力・暴言を根絶する」宣言を行い、2014年には「JFA リスペクトフェアプレー デイズ 2014 差別・暴力のない世界を！」を実施し、顕在化する暴力・差別問題を改善するためにさまざまな取り組みを進めています。

今年は、差別や暴力などが根絶されていない現状を改善するために、問題を未然に防ぐ啓発活動や顕在化した問題に適切な対応ができるよう、9月12日にウェルフェアオフィサー（ジェネラル）認定講習会を実施し、各FAや連盟などにウェルフェアオフィサーを設置します。